

凸凹を愛せる 自分に

障害者にとって「本当の障害」とはなんだろう。

一つの突破口を長谷川敦弥さんは

「子どもの教育」に見出した。

一人ひとりに合せた教育で、

その子の「凸凹」を「障害」ではなく、「個性」に

そして、「強み」に。

それは、障害児だけでなく、

あらゆる子どもの可能性を広げていく。



編集部=文

text by KOTONONE

河野 豊=写真

photograph by Yutaka Kohno